

## 2018年度 交換留学 留学報告書

コミュニケーション学科 3年

留学先：韓国 徳成女子大学

留学期間：2018年2月～2018年12月

留学は、私にとって語学力を伸ばす以外のことも沢山成長させてくれたものになりました。私の場合は、日本では実家暮らし、フェリスから徳成女子大学に行く学生も私1人ということで、全てを自分でこなすのみでした。もちろん、辛いこと、大変なこと、1人ではどうにもできないことは沢山ありました。しかし、それらを1つ1つこなしていく度に自分に自信がつくのです。言語はあくまでコミュニケーションツールの1つにしか過ぎず、自身の行動力が試される場だと身をもって感じました。

私は、高校生の頃から韓国に留学することが目標でした。フェリス女学院に入学しようと思ったのも、韓国語を学ぶ環境と留学設備が整っていることが理由でした。そして留学に行く前に少しでも韓国語能力を伸ばしておきたいと思い、ハングル検定3級を大学1年生の時に取得し、インテンシブコースの韓国語の授業も上級生の授業を受けさせてもらったりしていました。実際、留学をして留学前に頑張っていた良かったとも思いましたが、もっとやっても良かったとも感じました。しかしそのような少しの後悔も、もっと頑張ろうと思うキッカケにもなりました。

また、留学を通して、人間性を成長させ、新たな自分を見つけることができる体験ができました。今までは否定的になりがちだった私の考え方も、異文化を体験し、「これはこれじゃなきゃだめ」ではなく「こんな考え方もあるんだ」という物事の捉え方ができるようになりました。

韓国は日本語も通じやすく、現地大学の学生たちは熱心に日本語で話しかけてくれます。私が日本人だと知ると積極的に日本について興味を示してくれ、親しみを持ってくれる韓国人は沢山います。しかし街中には「独島（竹島）は私たちの土地だ」と掲げられたスローガンもよく目にしますし、慰安婦問題の署名活動なども盛んに行われているのです。このような政治的、歴史的な問題に関してしっかり目を向け、理解して共存していくしかなく、改めて韓国と日本は近くて遠い国だと感じました。それと同時に日本はそのような政治的、歴史的な問題に関心すぎないかとひしひしと感じたのが正直な感想です。その国の文化に触れたからには、暗い部分から目を背けちゃいけないということを学びました。

この留学を機に、新たな目標も見つけることができ、挑戦してみたいことも増えました。人間性を養い、積極的に行動に移せるようになりました。留学は良い意味で私の人格を変えてくれたように思います。